

「 当院における食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡下噴門形成術の検討 」 へのご協力のお願い

神奈川県立こども医療センター（外科）では「食道裂孔ヘルニア」の患者さんを対象に「腹腔鏡下噴門形成術」についての研究を実施しています。この研究は、重症心身障害児や体格の小さな小児に対する腹腔鏡下噴門形成術の安全性、治療効果、予後予測に役に立つと考えております。

| | |
|-----------------------------|---|
| 研究課題名 | 当院における食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡下噴門形成術の検討 |
| 研究の目的 (試料・情報の利用目的及び利用方法) | 重症心身障害児や 10kg 未満の体格の小さな児における食道裂孔ヘルニア症例に対する腹腔鏡下噴門形成術の特徴、安全性、予後を明らかにする |
| 対象の範囲 利用する試料・情報の項目 | 2012 年 6 月～2021 年 5 月までに、食道裂孔ヘルニアに対し腹腔鏡下噴門形成術を受けた方。 年齢、性別、生年月、体重、既往症、主訴、画像データ、手術所見、転帰情報(術中、術後合併症、再発時の対応など)、その他 |
| 研究実施機関（利用する者の範囲） | 本研究では院内のみの使用で、外部に試料・情報の提供はありません。 |
| 研究期間 | 2021 年 9 月 8 日から 2024 年 6 月まで |
| 情報の管理について責任を有する者 | 望月 響子 |

本研究はヘルシンキ宣言（2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2021 年 6 月 30 日施行）に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

本研究は外科の研究費で行っており、企業等からの資金提供は受けておりません。

本研究の対象となる患者さんでご自身やお子さんの情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。その場合、情報は使用いたしません。その場合も診療において不利益を被ることはありません。

尚、解析開始後は情報の削除ができないことをご了承ください。

(苦情等の相談窓口は総務課倫理委員会事務局です。)

連絡先 研究責任者 外科 都築 行広
地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
総務課 倫理委員会事務局

Tel : 045-711-2351 内線 2212